

令和6年シラス曳網調査結果 (第10報)

令和6年12月26日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

12月25日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深10m)、141-05E(水深29m)、
141-10E(水深39m)、141-15E(水深54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

12.7°C~17.1°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 1~330尾 (合計 618尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(11月15日、42~143尾、合計298尾)と比較し、増加しました。

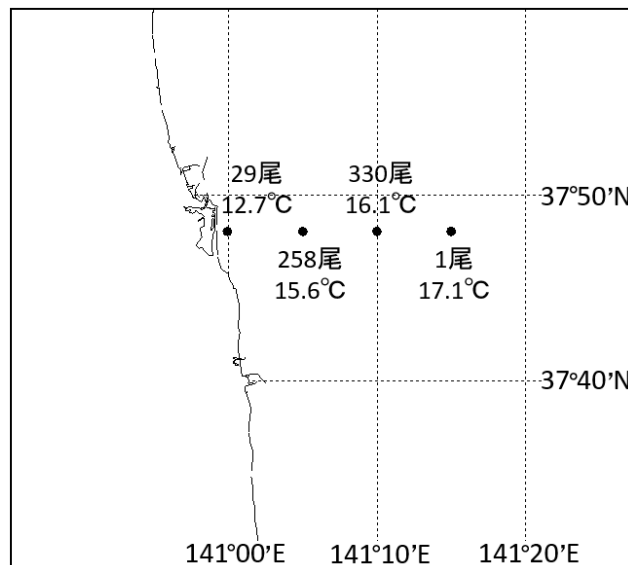


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：9.8～26.7mm

全ての定点において、全長15mm前後の群のシラスが採集されました。

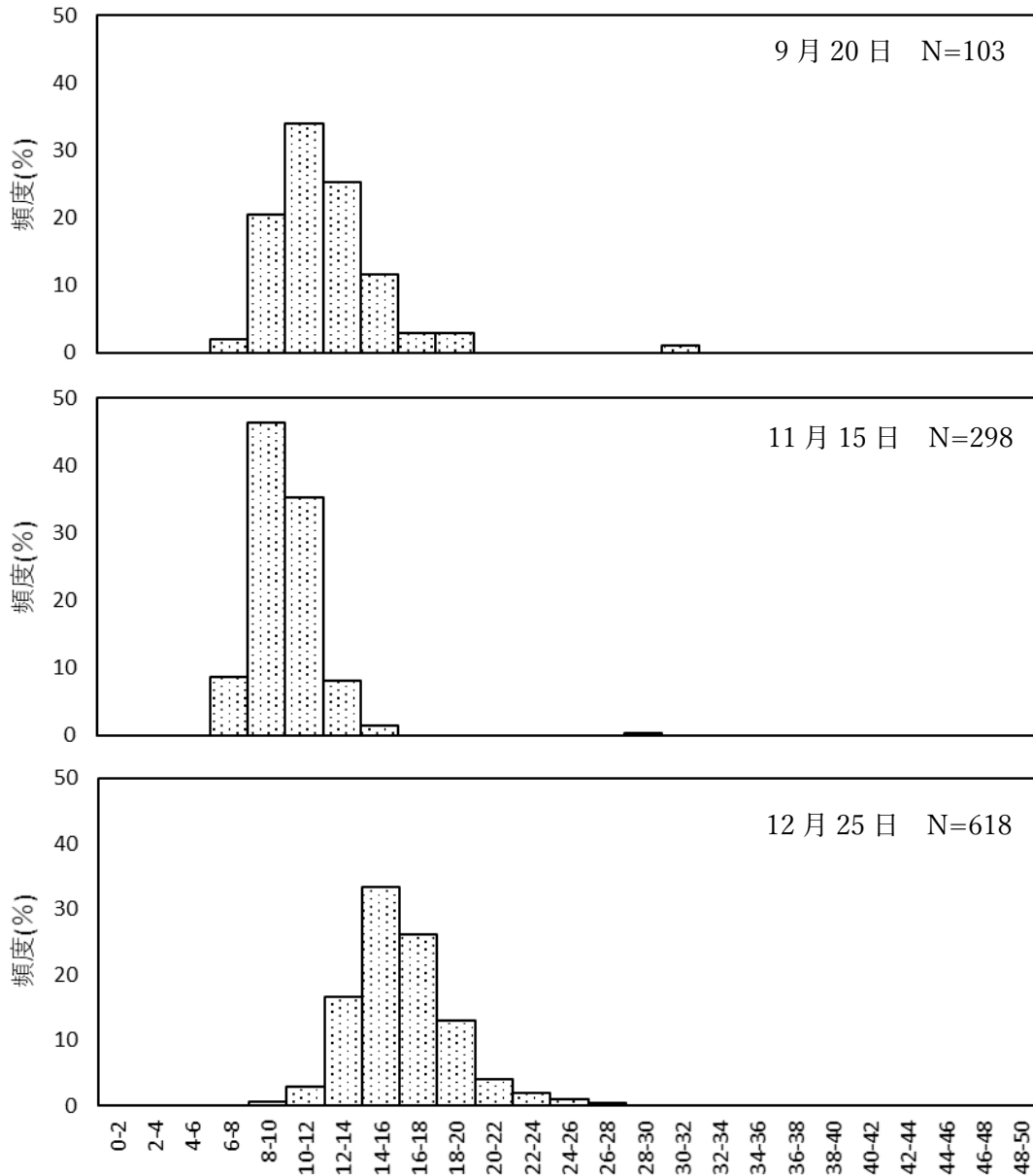


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和6年12月のシラス採捕数は平成18年以降で最も多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年度はいわき地区では6月3日より、相双地区では6月10日よりシラス漁が開始され、11月末までに約631トン(速報値)の水揚げがありました。

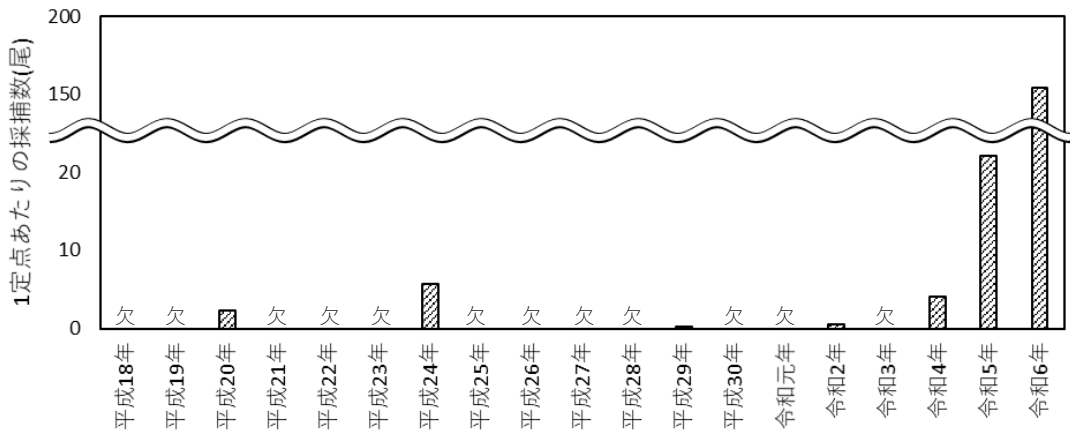


図3 相馬海域における12月の1定点あたりの採捕数

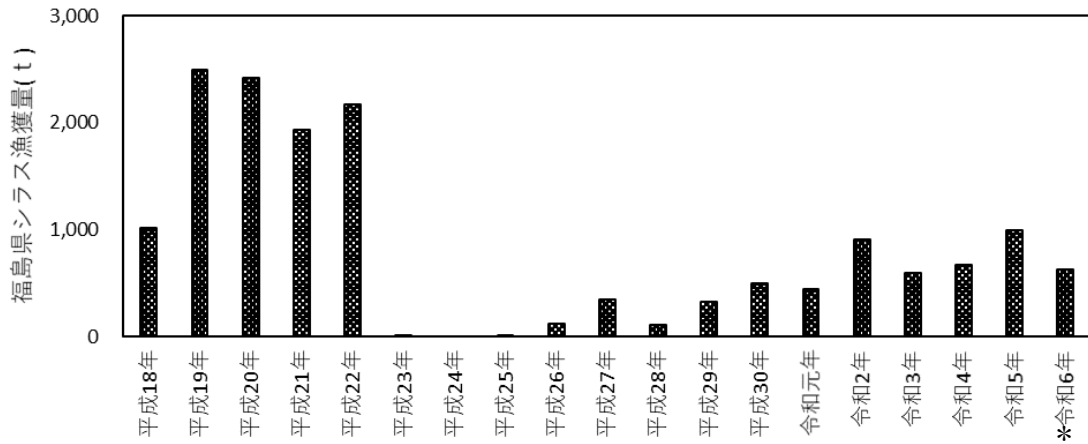


図4 福島県の年別シラス漁獲量

* 11月30日までの速報値